事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	2023年	11月	15日
法人名	有限会社ぷり一ずタカハシ		
代表者職名前	代表取締役 髙橋 憲子		
担当者名	連絡先		

受理	2023年 11月 22日
関係者へ	■ 市 建築指導課 消防局予防課 開発指導課
の 意 見	■ 福山市障がい福祉サービス等の指 定に係る懇話会
克聴	
取	
回答	2024年 2月 15日

意見

-	12 = X - T
	孤幸事用

事業種別	就労継続支援B型	事業所名	Colt Works(コルトワークス)	開設(変更)予 定日	2024年4月1日

			計画の概要					7	本計	画書	に言	己載	が必	要な	澒	1			
			計画の概安		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	■ 新規事業所の開設		共生型サービス		0	0	0		0	0	0								
	□ 事業の追加		共生型サービス以外	新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
協				賃借·自己所有	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議			□ 多機能型サービス	新築予定	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の				賃借·自己所有	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種				現在地	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類	□ 定員の変更		就労継続支援A型		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
~~			共同生活住居の追加		0	0	0		0	0	0								
			上記以外		0	0	0	0	0	0	0								
	□ 大幅な事業内容の変更	×	△は生産活動を行う事業		0	0	0	Δ	0	0	0					0	0		0
	□ 事業所の移転		_		0	0	0		0	0	0							0	
	□ 建物の構造・設備の変更		_		0	0	0		0	0	0				0	0			

※必要に応じて○△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

2 事業実施に体る動機 現在、弊社では乗馬クラブ(福山ホースクラブ)と福祉事業(児童発達支援・放課後等デイサービス まきば)を運営している。福祉事業において、日常生活における基本的動作や乗馬、感覚統合など個別療育を行い、作業として餌つくり(計量)や掃除なども習得し、一般就労や事業所への移行も出来ると考えていたが、障害のある子どもが大人になる過程の中で進路や卒業後に新しい環境に馴染めず、悩んでいる子ども、保護者の相談も多々ある。5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、これまでさまざまな制限があり、生産活動、実習、余暇活動など学齢期に学べなかったことも多くあると痛感している。また、「西日本障がい者のための乗馬」の活動でも会員さんの中で障がいにより就職したくても出来ない現状がある。そこで就労継続支援B型事業所を開設し学齢期・年齢期に合わせた支援や作業提供を取り入れ、少しでもステップアップ

そこで就労継続支援B型事業所を開設し学齢期・年齢期に合わせた支援や作業提供を取り入れ、少しでもステップアッフ し自立した日常生活や生産活動への参加、又知識・技術が向上した方が一般就労できるよう支援したいと考えた。

※目指す方向性としては障がいのある子ども、大人が共生できる社会への取り組み、また日常生活がより豊かになり、 知識・能力の向上された方が一般就労できるよう支援していきたいと考えるため「就労継続支援B型」を開所したいと思っている。

3 法人の概要

O MICONING								
設立年月日	1998年 1月 8日			意見				
法人が実施する主	① 児童発達支援・放課後等デイサービス	割合	100	%				
は は事業	2	割合		%				
る事本	3	割合		%				
法人の理念	「障害のある子どもから大人まで共生できる社会へ」							
法人の基本方針	障がいのある子ども、大人も互いに尊重し、楽しみや生きが る。	いを持ち日常生活が	送れるよう支援す					

4 法人の主要取引先

·								
上段:取引先 下段:所在地	割台	Ì	掛取	引	回収・3	支払の条	件	意見
生草(仮)	4 0	%		%	日〆		日回収	
	3 0	%		%	日〆		日回収	
	3 0	%		%	日〆		日回収	

1

5 施設の概要【平面図は7のとおり】 福山市神辺町新湯野43-2 用途区域 近隣商業地域 意見 所在地 + 都市計画法第29条第1項第1 地 所有者 抵当権 号に該当することから. 同法第 名称 Colt Works(コルトワークス) 29条第1項に規定する開発許 有限会社ぷり一ずタカハシ 抵当権 口あり 所有者 建 可は不要。その他の法令につ 用途 就労継続支援B型 事務室·相談室(多目的室)·作業室 構造 いては、関係部局とそれぞれ 物 階層 2024年着工予定 1階建 地上 1階 地下 建築年 協議すること。 ・ 当該建築物は 建築基準法 建築面積 198 m² 延面積 198 m² 上の用途「就労継続支援施 種別 就労継続支援B型 設」で、現在建築中。工事完了 198 m² 1 手続 使用する階 1 階 専有面積 後に、検査済証の交付を受け 利用者 20 人 収容人員 人 内訳 職員 人 事 ·消火器具, 非常警報器具, 誘 種別 業 導灯を設置すること の 2 手続 使用する階 階 専有面積 m² · 防火対象物使用開始届出書 収容人員 職員 利用者 概 0 人 内訳 L を提出すること。 要 種別 カーテン及びじゅうたん等を 3 手続 使用する階 専有面積 階 使用する場合は、防炎物品を m² 0 人 内訳 収容人員 職員 利用者 人 使用すること。 申請種別 ■ 新築 □ 増築 □ 用途変更 🛘 □ その他 容 就労継続支援B型事業所 軽作業・施設外就労 6 付近図 意見 小学校区 湯野小学校 人口 4,000 同種の事業所数 利用定員合計 30 当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載) 神辺地区にもB型事業所はあるが弊社の強みである「馬」を用いた他にない事業展 凡例 開をすることで地元企業の就労ニーズという機会を取り込み、「障がい者就労の場」 を確保する。「JRAとの交流関係」を活かし、就労を通じてビジネスモデルを確立する ことでSDGsの項目でもある「働きがいも経済成長も」実現し地域の発展や事業発展 〇 … 事業所 × ··· 同種の事業所 △ … 一次避難先 につながるのではと考えている。 □ … 二次避難先 ※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。 1,700 m 移動手段 車4分・徒歩20分 一次避難先までの距離 移動手段 車4分·徒歩15分 1.000 m 二次避難先までの距離 避難場所 一次避難場所 神辺西コミュニティーセンター 二次避難場所 湯田小学校 ※ 避難はBCP策定をもとに行動。移動手段として徒歩・車両を用いる。

意見 ※平面図のデータを貼付(貼付が難しい場合は、別添とすること。) ※各部屋・設備の名称及び面積を記載すること。 ※敷地内に屋外遊技場等がある場合は、合わせて記載すること。 28500 道路境界線 1,000 90 3,500 3,500 相談室兼多目的室 (14,00m²) 000 便所 000 1,000 便所 11,000 11,000 3,000 2,000 7, 500 多目的トル 作業室 (112,00m²) 200 2,000 000 男子ロッカー (6.00m²) 000 $(6.00 m^2)$ 20000 隣地境界線 3, 000 | 1, 000 | 12, 000 2,000 | 1,000 3,000 2,000 1,000 3,000 1,000 | 2,000 | 1,000 | 2,000 2,000 18,000

8 従業員

職種		雇	用形	態			名	前		年齢	F	給		意見
管理者		常勤								41	28	万	円	・従業者の賃金について、
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者		常勤	<u> </u>									万		年齢や経験に応じた額とす
職業指導員		常勤		非常勤						58	20		,,,	ることや処遇改善加算を算
生活支援員		常勤		非常勤		4月採	用職員(京	忧労支援経験	(者)		20	万	円	定することを検討してはどう
生活支援員		常勤		非常勤						28	17	万	河	י'מ,
		常勤		非常勤									河	
		常勤		非常勤									河	
		常勤		非常勤									河	
		常勤		非常勤									河	
		常勤		非常勤								_	河	
		常勤		非常勤									河	
		常勤		非常勤	勆								河	
										合計	85	万	円	
	人件	費月	末	日〆	5	5	日 支払	ボーフ	トス		月		月	

※ボーナスは2年目より導入予定

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高		年間返済	額	意見
	建物	5,000	万円	380	万円	
	運転資金	1,000	万円	190	万円	ļ
			万円		万円	

10 必要な資金と調達方法

	2 X C X T C III C III C						
	必要な資金	金額		調達方法	金額		意見
=л.	土地		万円	補助金		万円	
設備	建物	5,000	万円	自己資金		万円	
資	設備		万円	借入金	6,000	万円	
金	車両		万円				
317	その他		万円				
運	运 資金	1,000	万円				
	合計	6,000	万円	合計	6,000	万円	

11 事業の見通し

	4-7K-1750220	1月目		2月目		3月目		1年後		意見
	利用者見込 A	3	人	4	人	5	人	13	人	・収支について, 予算に2年
	日平均利用額 ※1 (1人当たり)	12.8	万円	12.8	万円	12.8	万円	12.8	万円	目以降のボーナスや土地の貸借料が計上されておら
	給付費 ※2		万円		万円	38.4	万円	153.6	万円	ず,借入金も多いことから, 開設後の継続に支障がで
入	諸収入		万円		万円		万円		万円	おいよう管理に留意するこ
	収入計 ①	0	万円	0	万円	38.4	万円	153.6	万円	と。
	人件費		万円	85	万円	85	万円	85	万円	
	旅費•交通費	1	万円	1	万円	1	万円	1	万円	
	賃借料		万円		万円		万円		万円	
出	通信費	2	万円	2	万円	2	万円	2	万円	
	諸経費 ※4	20	万円	20	万円	20	万円	20	万円	
	支払元金利息	47.5	万円	47.5	万円	47.5	万円	47.5	万円	
	支出計②	70.5	万円	155.5	万円	155.5	万円	155.5	万円	
	収支①-②	-70.5	万円	-155.5	万円	-117.1	万円	-1.9	万円	
	収入 B		万円		万円		万円		万円	
生産	売上高 ※3		万円		万円		万円		万円	
			万円		万円		万円		万円	
活	支出 C		万円		万円		万円		万円	
動	必要経費	·	万円		万円	·	万円		万円	
	利用者賃金	·	万円		万円	·	万円		万円	
	賃確保状況(A型) B-C)/25)/8)/A		円		円		円		円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠 基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

基本報酬(566)+送迎加算(往復20) 月22日計算

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
	6 万円	ロ あり ロ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間の生	産額				Ē	1月当たりの生産額				
生草箱詰め作業	91	円	×	3	H ×	22	日	×	10 人 =	6	万円
	205	円	×	1	H ×	22	日	×	10 人 =	4.5	万円

※4 諸経費: 消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

(1)事業概要

事業種別: 就労継続支援B型利用定員: 20人

営業日:月~金

| 営業日: 月~金 (土・日・祝 その他 お盆 年末年始 休み) |営業時間・サービス提供時間: (職員 8:00~17:00) (利用者 10:00~15:00)

主たる対象者: 身体・知的・精神 送迎の有無: あり (自宅・その他グループホームなど)

協力医療機関: 奥坊クリニック

その他:

(2) 開設事業に係る理念・基本方針

「障害のある子どもから大人まで働きやすい社会へ」

・障がいのある子ども、大人も互いに尊重し、個々の楽しみや働きがいが向上するよう支援する。知識・能力が向上した 方に次のステップへの支援をしていく。

| い)デキバロは ・アセスメントから障害特性に合った作業工程表作成、作業分析を行い就労の機会を提供する。作業が難しい利用者でも「出来ない」でなく作業工程の中の一部でも担えるよう創意工夫する。利用者が1つの作業を1人で出来る「セル方式」と一つ作業を協力して行う「ライン工程方式」で、個々の役割を持ち、作業を通して働きがい・生きがいを持ち日常生活、社会生活が送れるよう支援していく。 ・社会的必要な技術、能力向上した方は、自己決定により一般就労に向けた支援を行う。

作業内容

+ 年間 生草(箱の組み立て、仕分け、梱包、発送など) (シール貼り、軽量・シーラー、梱包、納品) (機材の撮影、アップロード、梱包、発送)

・その他、軽作業や施設外就労も検討中

月 1~2回 休日通所を設定し、行事や余暇活動を予定する

13 利用者処遇

(1)具体的な支援(療育)内容及び目的

・家族、本人が取り巻く環境を把握し、必要な援助、助言など相談しやすい環境設定を行う。 各関係機関との連携し、相談できるネットワークつくりを行う。

【社会的生活力】

・日常生活や社会生活に必要なマナーを身に着け、協調性やコミュニケーションが図れるよう支援する。

・個々の特性の把握から作業分析し、本人に合った作業提供を行い、自己決定により訓練を行う。

・出来ることを増やし就労への意欲が高まるよう支援していく。

・能力向上等、本人の意思決定に寄り添い一般就労への支援を行う。

【送迎】

·基本、完全送迎(自宅↔事業所)を行います。※利用者希望による。

(2)支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など

·就労継続支援B型事業所経験者(前管理者兼サービス管理責任者)配置

·介護福祉士配置、目標工賃達成指導員配置予定

(3)職員の質向上のための教育・研修計画

・自治体やその他関係機関から発信される研修にも積極的に参加し、また社内研修を行い教育する。

(4)感染症対策

・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため基本、マスク着用は自己決定とし、その他、衛生上必要な除菌・換気 などは都度行う。社内、感染症マニュアル配置。

(5)事故防止等の安全確保策及び発生時の対応

・事故防止についての研修・指導・マニュアルの作成。また必要に応じて会議を行う。

・事故発生時には迅速な対応、連絡ができる体制つくりを行う。

損害賠償保険への加入。

(6)関係機関との連携

・特別支援学校、相談支援事業所、医療機関、その他関係機関など必要に応じて連携を図る。

・担当者会議などの積極的な参加。

(7)家族(保護者)支援

・家庭と事業所でのモニタリングや意見交換を行い、困りごとなどしっかり把握し個別支援計画などで反映し出来る限り の援助・助言・相談を行う。

(8)その他

意見

動機から, 若年者や一般 就労を目指す方の利用が 想定される一方, 設備・作 業内容は比較的重度の利 用者に対応したものとなっ ていることから、作業内容について、賃金向上や一般就 労を目指せるものも検討し てはどうか。

支援や作業の内容につい て、特色を活かし、より馬との直接的な関わりがあるも のも検討してはどうか。

意見

5

14 防災計画	
〇災害時の対応体制 ・自社のBCP策定を行い、職員がマニュアル通りに動ける体制つくりを行う。	意見
・緊急連絡網、情報発信を早急にできる体制を整備する。 〇避難先 一次避難先:神辺西コミュニティーセンター 距離,避難方法及び時間: 1,700m 車4分 徒歩20分	
四年、 短短力ススのい時間: 1,700m 年4万 16か20万 二次避難先:湯田小学校 距離、避難方法及び時間: 1,000m 車4分 徒歩15分	
○防災計画等の作成 ・BCP同様に作成、役割などは常に掲示する。	
○避難訓練の実施計画 ・年2回(4月・10月)の避難訓練を実施する。	
15 一日の流れ	
営業日 営業時間 サービス提供時間 月 火 水 本 金 土 日 祝	
8:00~17:00 10:00~15:00	
8 時 00 分 ~ 9 時 45 分 出勤、送迎	意見
9 時 50 分 ~ 10 時 00 分 朝礼、出席	
10 時 00 分 ~ 12 時 00 分 作業 (間休憩含む)	
12 時 00 分 ~ 13 時 00 分 昼食	
13 時 00 分 ~ 15 時 00 分 作業 (間休憩含む)	
15 時 00 分 ~ 17 時 00 分 送迎、事務作業、退社	
□ 時 分 ~ □ 時 □ 分 □ □ 分 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
営業日 営業時間 サービス提供時間	
月 火 水 木 金 土 日 祝	
	辛目
時 分~ 時 分	意見
時 分 ~ 時 分	
時 分 ~ 時 分 分	
□□□□	
時 分~ 時 分	

事業計画書

口当初

■最終

様式第2号-2 受付印
人口的
2024. 3. 18受付

主な修正点

作成年月日	2023年 11月	15日
法人名	有限会社ぷり一ずタカハシ	
代表者職名前	代表取締役 髙橋 憲子	
担当者名	連絡先	

+刀 =王 中 T白

事業種別	就労継続支援B型	事業所名	Colt Works(コルトワークス)	開設(変更)予 定日	2024年4月1日

	計画の概要					本計画書に記載が必要な項目											\neg	
		計画の概安		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	■ 新規事業所の開設	□ 共生型サービス		0	0	0		0	0	0								
	□ 事業の追加	■ 共生型サービス以外	■ 新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
協			□ 賃借·自己所有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議		□ 多機能型サービス	□ 新築予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の			□ 賃借·自己所有	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種			□ 現在地	0	0	0	0	0	0	О	0	0	0	0	0	0	0	0
類	□ 定員の変更	□ 就労継続支援A型	就労継続支援A型				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
~~		□ 共同生活住居の追加	共同生活住居の追加					0	0	О								
		□ 上記以外				0	0	0	0	О								
	□ 大幅な事業内容の変更	0	0	0	Δ	0	0	0					0	0		0		
	□ 事業所の移転	0	0	0		0	0	0							0			
	□ 建物の構造・設備の変更	〕建物の構造・設備の変更							0	0				0	0			

※必要に応じて○△が無い部分も記入いただく場合があります。

2 事業実施に係る動機

2 事業実施に体る動機 現在、弊社では乗馬クラブ(福山ホースクラブ)と福祉事業(児童発達支援・放課後等デイサービス まきば)を運営している。福祉事業において、日常生活における基本的動作や乗馬、感覚統合など個別療育を行い、作業として餌つくり(計量)や掃除なども習得し、一般就労や事業所への移行も出来ると考えていたが、障害のある子どもが大人になる過程の中で進路や卒業後に新しい環境に馴染めず、悩んでいる子ども、保護者の相談も多々ある。5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、これまでさまざまな制限があり、生産活動、実習、余暇活動など学齢期に学べなかったことも多くあると痛感している。また、「西日本障がい者のための乗馬」の活動でも会員さんの中で障がいにより就職したくても出来ない現状がある。そこで就労継続支援B型事業所を開設し学齢期・年齢期に合わせた支援や作業提供を取り入れ、少しでもステップアップ

|そこで就労継続支援B型事業所を開設し学齢期・年齢期に合わせた支援や作業提供を取り入れ、少しでもステップアップ |し自立した日常生活や生産活動への参加、又知識・技術が向上した方が一般就労できるよう支援したいと考えた。

※目指す方向性としては障がいのある子ども、大人が共生できる社会への取り組み、また日常生活がより豊かになり、知識・能力の向上された方が一般就労できるよう支援していきたいと考えるため「就労継続支援B型」を開所したいと思っている。

3 法人の概要

O M/O/MS				
設立年月日	1998年 1月 8日			主な修正点
はしが中体ナス 主	① 児童発達支援・放課後等デイサービス	割合	100 %	
法人が実施する主な事業	2	割合	%	
ゆ尹未	3	割合	%	<u> </u>
法人の理念	「障害のある子どもから大人まで共生できる社会へ」			
法人の基本方針	障がいのある子ども、大人も互いに尊重し、楽しみや生きが る。			

4 法人の主要取引先

上段:取引先 下段:所在地	割台	掛取	31	回収・支払の条件			支払の条	主な修正点		
生草(仮)	4 0	%		%		日	×		日回収	
	3 0	%		%		日	ď		日回収	
	3 0	%		%		日	×		日回収	

1

5 施設の概要【平面図は7のとおり】 福山市神辺町新湯野43-2 用途区域 近隣商業地域 主な修正点 所在地 + 地 所有者 抵当権 その他の法令について、関 係部局と協議していきます。 名称 Colt Works(コルトワークス) 有限会社ぷり一ずタカハシ 抵当権 口あり 所有者 現在建築中であり工事完了 建 用途 就労継続支援B型 事務室·相談室(多目的室)·作業室 構造 後に、検査済証の交付を受け 物 階層 2024年着工予定 1階建 地上 1階 地下 建築年 年」た後、提出します。 198 m² 建築面積 198 m² 延面積 消火器、誘導灯及び非常用 種別 就労継続支援B型 警報装置を設置します。 専有面積 198 m² 1 手続 使用する階 1 階 利用者 20 収容人員 人 内訳 職員 人 事 防火対象物使用開始届出書 種別 業 を提出します。 の 2 手続 使用する階 階 専有面積 m² カーテン及びじゅうたん等を 収容人員 職員 利用者 概 0 人 内訳 使用する場合は、防炎物品を 要 種別 使用します。 3 手続 使用する階 専有面積 階 m² 収容人員 0 人 内訳 職員 利用者 人 申請種別 ■ 新築 □ 増築 □ 用途変更 □ □ その他 容 就労継続支援B型事業所 軽作業・施設外就労 6 付近図 主な修正点 小学校区 湯野小学校 人口 4,000 同種の事業所数 利用定員合計 30 当該地域における開設事業のニーズ分析について(新規開設の場合のみ記載) 神辺地区にもB型事業所はあるが弊社の強みである「馬」を用いた他にない事業展 凡例 開をすることで地元企業の就労ニーズという機会を取り込み、「障がい者就労の場」 を確保する。「JRAとの交流関係」を活かし、就労を通じてビジネスモデルを確立する ことでSDGsの項目でもある「働きがいも経済成長も」実現し地域の発展や事業発展 〇 … 事業所 × ··· 同種の事業所 △ … 一次避難先 につながるのではと考えている。 □ … 二次避難先 ※付近図に、事業所から一次避難先及び二次避難先への避難経路を記載すること。 1,700 m 移動手段 車4分・徒歩20分 一次避難先までの距離 移動手段 車4分·徒歩15分 1,000 m 二次避難先までの距離 避難場所 一次避難場所 神辺西コミュニティーセンター 二次避難場所 湯田小学校 ※ 避難はBCP策定をもとに行動。移動手段として徒歩・車両を用いる。

7 平面図 主な修正点 ※平面図のデータを貼付(貼付が難しい場合は、別添とすること。) ※各部屋・設備の名称及び面積を記載すること。 ※敷地内に屋外遊技場等がある場合は、合わせて記載すること。 道路境界線 28500 1,000 90 3,500 200 倉庫 (28.00m²) 事務室 (21, 00m²) 相談室兼多目的室 (14.00m²) 1,000 000 000 11,000 便所 11,000 000 000 7, 500 作業室 (112, 00m²) 多目的トル 脱衣室 フーリーム 木 200 2,000 男子ロッカー (6.00m²) 000 女子ロッカー 1,000 (6.00m²) 20000 隣地境界線 2,000 1,000 3,000 1,000 2,000 2,000 [1,000] 3, 000 12, 000 1,000 2,000 2,000 | 1,000 3,000 18,000

8 従業員

0 化未貝				7-1-					
職種		雇用形態		態	名前	年齢	月	給	主な修正点
管理者		常勤				41	28	万円	・職業指導員は役員報酬
サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者		常勤	_					万円	があるので、生活支援員に
職業指導員		常勤		非常勤		58	20	万円	ついてはスキルアップのた
生活支援員		常勤		非常勤	4月採用職員(就労支援経験者)		20	万円	めの研修や昇給制度、ま
生活支援員		常勤		非常勤		28	17	万円	た処遇改善加算の算定に 取り組んでいきます。
		常勤		非常勤				万円	以の組んでいるより。
		常勤		非常勤				万円	
		常勤		非常勤				万円	
		常勤		非常勤				万円	
		常勤		非常勤				万円	
		常勤		非常勤				万円	
		常勤		非常勤				万円	
						給計	85	万円	
	人件	貴 月	末	日〆	5 日 支払 ボーナス		月	月	

※ボーナスは2年目より導入予定

9 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高		年間返済	額	主な修正点
	建物	5,000	万円	380	万円	
	運転資金	1,000	万円	190	万円	ļ
			万円		万円	

10 必要な資金と調達方法

	20女の兵业に附近7774						
	必要な資金	金額		調達方法	金額		主な修正点
=π.	土地		万円	補助金		万円	
	建物	5,000	万円	自己資金		万円	
資	設備		万円	借入金	6,000	万円	
金	車両		万円				
317	その他		万円				
運轉	运 資金	1,000	万円				
	合計	6,000	万円	合計	6,000	万円	

11 事業の見诵し

一 事業の見週し										
	1月目		2月目		3月目		1年後		主な修正点	
利用者見込 А		3	人	4	人	5	人	13	人	
月平均利用額 : (1人当たり)	€1	12.8	万円	12.8	万円	12.8	万円	12.8	万円	・利用者確保と職員ボーナース支給の計画をたて開設
収 給付費 ※2			万円		万円	38.4	万円	153.6	万円	後の管理を徹底していきま
入 諸収入			万円		万円		万円		万円	す。土地の賃借料につい ては今のところ発生しませ
収入計 ①		0	万円	0	万円	38.4	万円	153.6	万円	ん。
人件費			万円	85	万円	85	万円	85	万円	700
旅費·交通費		1	万円	1	万円	1	万円	1	万円	
支 賃借料			万円		万円		万円		万円	
出 通信費		2	万円	2	万円	2	万円	2	万円	
諸経費 ※4		20	万円	20	万円	20	万円	20	万円	
支払元金利息		47.5	万円	47.5	万円	47.5	万円	47.5	万円	
支出計②		70.5	万円	155.5	万円	155.5	万円	155.5	万円	
収支①-②		-70.5	万円	-155.5	万円	-117.1	万円	-1.9	万円	
収入 B			万円		万円		万円		万円	
生 売上高 ※	3		万円		万円		万円		万円	
産			万円		万円		万円		万円	
活 支出 C			万円		万円		万円		万円	
動 必要経費			万円		万円		万円		万円	
利用者賃:			万円		万円		万円		万円	
最賃確保状況(A (((B-C)/25)/8			円		円		巴		円	

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠 基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること

基本報酬(566)+送迎加算(往復20) 月22日計算

※2 給付費は,サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先	1月当たりの受	却纷重	書の有無	回収・支払いの条件	
下段:所在地	「カヨたりの文	大小江	107円 邢	固权"文孤(10)未什	
	6	ы В	ロ あり	□ <i>†</i> ċ	1
	U	נוני	اد ا	<u></u>	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品 1時間の9			計算式							1月当たりの生産額	
生草箱詰め作業	91	円	×	3	H ×	22		×	10 人 =	6	万円
	205	円	×	1	H ×	22	日	×	10 人 =	4.5	万円

※4 諸経費: 消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

12 事業計画

(1)事業概要

事業種別: 就労継続支援B型利用定員: 20人

営業日: 月~金 (土・日・祝 その他 お盆 年末年始 休み) 営業時間・サービス提供時間: (職員 8:00~17:00) (利用者 10:00~15:00)

主たる対象者: 身体・知的・精神 送迎の有無: あり (自宅・その他グループホームなど)

協力医療機関: 奥坊クリニック

その他:

(2) 開設事業に係る理念・基本方針

「障害のある子どもから大人まで働きやすい社会へ」

・障がいのある子ども、大人も互いに尊重し、個々の楽しみや働きがいが向上するよう支援する。知識・能力が向上した 方に次のステップへの支援をしていく。

ン・アセスメントから障害特性に合った作業工程表作成、作業分析を行い就労の機会を提供する。作業が難しい利用者でも「出来ない」でなく作業工程の中の一部でも担えるよう創意工夫する。利用者が1つの作業を1人で出来る「セル方式」と一つ作業を協力して行う「ライン工程方式」で、個々の役割を持ち、作業を通して働きがい、生きがいを持ち日常生活、社会生活が送れるよう支援していく。 ・社会的必要な技術、能力向上した方は、自己決定により一般就労に向けた支援を行う。

月 1~2回 休日通所を設定し、行事や余暇活動を予定する。

13 利用者処遇

(1)具体的な支援(療育)内容及び目的

【相談】

・家族、本人が取り巻く環境を把握し、必要な援助、助言など相談しやすい環境設定を行う。

・各関係機関との連携し、相談できるネットワークつくりを行う。

【社会的生活力】

・日常生活や社会生活に必要なマナーを身に着け、協調性やコミュニケーションが図れるよう支援する。

【作業訓練】

・個々の特性の把握から作業分析し、本人に合った作業提供を行い、自己決定により訓練を行う。

出来ることを増やし就労への意欲が高まるよう支援していく。

・能力向上等、本人の意思決定に寄り添い一般就労への支援を行う。

【送迎】

·基本、完全送迎(自宅↔事業所)を行います。※利用者希望による。

(2) 支援を行うために必要となる職員の経験・有する資格など

·就労継続支援B型事業所経験者(前管理者兼サービス管理責任者)配置

·介護福祉士配置、目標工賃達成指導員配置予定

(3) 職員の質向上のための教育・研修計画

・自治体やその他関係機関から発信される研修にも積極的に参加し、また社内研修を行い教育する。

(4)感染症対策

・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため基本、マスク着用は自己決定とし、その他、衛生上必要な除菌・換気 などは都度行う。社内、感染症マニュアル配置。

(5)事故防止等の安全確保策及び発生時の対応

・事故防止についての研修・指導・マニュアルの作成。また必要に応じて会議を行う。

・事故発生時には迅速な対応、連絡ができる体制つくりを行う。

損害賠償保険への加入。

(6)関係機関との連携

特別支援学校、相談支援事業所、医療機関、その他関係機関など必要に応じて連携を図る。

・担当者会議などの積極的な参加。

(7)家族(保護者)支援

・家庭と事業所でのモニタリングや意見交換を行い、困りごとなどしっかり把握し個別支援計画などで反映し出来る限り の援助・助言・相談を行う。

(8)その他

主な修正点

新設であり利用者確保か らまず施設での作業で安 定した通所を図り、利用者 にあった作業提供を考えて おります。工賃アップの計 画から徐々に作業のスキ ルアップや福山ホースクラ ブ、●●●●との提携で施 設外作業も考えていきま

自社の特色である馬を活 かした作業も現在検討中 であります。危険が伴う事 は避け、しっかり計画した 上での作業展開を考えて いきます。

主な修正点

14 防災計画	
「受ける」 ○災害時の対応体制 ・自社のBCP策定を行い、職員がマニュアル通りに動ける体制つくりを行う。 ・緊急連絡網、情報発信を早急にできる体制を整備する。	主な修正点
○避難先 一次避難先:神辺西コミュニティーセンター 距離、避難方法及び時間: 1,700m 車4分 徒歩20分 二次避難先:湯田小学校 距離、避難方法及び時間: 1,000m 車4分 徒歩15分	
○防災計画等の作成 ・BCP同様に作成、役割などは常に掲示する。	
○避難訓練の実施計画 ・年2回(4月・10月)の避難訓練を実施する。	
【 15 一日の流れ	
営業日 営業時間 サービス提供時間	
月 火 水 木 金 土 日 祝 8:00~17:00 10:00~15:00	
8 時 00 分 ~ 9 時 45 分 出勤、送迎	主な修正点
9 時 50 分 ~ 10 時 00 分 朝礼、出席	
10 時 00 分 ~ 12 時 00 分 作業 (間休憩含む)	
12 時 00 分 ~ 13 時 00 分 昼食	
13 時 00 分 ~ 15 時 00 分 作業 (間休憩含む)	
15 時 00 分 ~ 17 時 00 分 送迎、事務作業、退社	
時 分~ 時 分	
P4	
※上記と異なる営業時間・サービス提供時間がある場合に記載すること。	
営業日 営業時間 サービス提供時間	
	主な修正点
時 分 ~ 時 分	
時 分	
時 分	